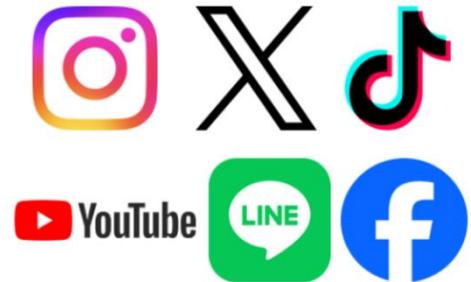




## 情報モラルを題材にした道徳の授業を行いました

2月27日（金）の4限に情報モラルを題材にした道徳の授業を行いました。「SNSに不適切な投稿をした場合、どのような影響が出るか考えよう」という学習目標に向かって学級で真剣に話し合いました。SNSがとても身近になり、使うことが当たり前になりました。便利な面もありますが、使うことによるリスクを理解していないと、軽い気持ちでしたことが周囲に大きな影響を与えることになったり、犯罪に巻き込まれてしまったりする危険性があります。自分で発信した内容が切り取られて解されたり、間違っって伝わったりする可能性があります。また、直接言うことはできないけれど、SNSだったらいいかと軽い気持ちで発信したことが、大きなトラブルにつながる可能性もあります。そんな実際に起きそうな具体的な事例を題材にして、どうすればよかったのかを話し合い、SNSを使う時に気を付けることを考えました。

今回の授業を通して気付いたことをこれからの生活で生かして行って欲しいと思います。SNSを利用する時に、この発信をしてどうなるのか、相手がどう思うのかを自分だけの視点ではなく、様々な視点で考えてから発信をして欲しいと思います。情報モラル教育は、学校と家庭が連携をして進めていくことが大切だと考えています。ぜひご、家庭でも話題にしていただき、生徒の情報モラルに対する意識を高めていただきたいと思います。



### 【道徳の授業での感想】

- ・何も考えずに発信したものが後々事件に繋がるということ、誰かを傷つけたり、自分を傷つけたりすることがあるということを知り、改めて気を付けて行動するべきだと思いました。普段何も気にせずやっている投稿のいいねや、Xのリポストも危ないことを知ってすごく驚いたので、これから先使うときに少しでも思い出して行動できたらいいなって思われました。
- ・私は投稿はしないけど、見ている側も炎上につながってしまうということが分かりました。いいねはすることもあったので、気を付けたいと思います。また、今後自分が投稿をするようになるかもしれないから、そうなったときには自分にも周りにも影響が出ることを意識し、考えて発信したいと思います。
- ・これからはみんな絶対にSNSに触れて生きていくと思うから、SNSは現実と同じものだと考えて（匿名とかそういうのなしに）生活すれば、みんながお互いを思い合っって日常的によい方向に使ってほしいと思います。「SNS＝現実」だとみんなが考えられたいと思います。
- ・SNSで書き込みを投稿するときは、自分が書いた内容が正しいものなのか、それを見て傷ついたり、不快になったりする人がいないのかをしっかりと考えてから投稿する必要があると思った。「相手に直接言えるか」を考えてみるのも大切だと思った。
- ・SNSの性質、可視性、拡散性、持続性を意識した投稿を心がけたい。SNSには良い面もあれば悪い面もあることを理解して、それを注意してSNSを利用したい。
- ・SNSを使うにあたって、自分が発信したものが「デジタルタトゥー」になる可能性もあるから、本当に合っているかを確認してから、発信することが重要だと思った。

